

4. 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

東埼玉道路側道部(L=5.7km)の開通は、周辺地域で「交通混雑の緩和」、「交通の円滑化」、「沿道地域の活性化」等について、一定の効果が得られました。

また、東埼玉道路の開通区間と並行する周辺道路の交通事故は減少しましたが、堂面橋交差点改良によりゆめみ野団地内の町道7号線の交通量が増加しています。それにともない事故件数も増加傾向にあります。

今後は引き続き、各箇所の事故や渋滞の状況把握に努め、改善策を検討し必要に応じて適宜対策を実施するとともに、その効果の把握に努めるなど、必要に応じた対策を随時実施してまいります。